



2021 年 9 月 17 日
国立大学法人 神戸大学

1. 海洋政策科学部について

本年 4 月から海洋政策科学部がスタートしました。令和 3 年度入学者選抜の志願倍率は前期日程が 3.6 倍【前年度の海事科学部志願倍率 2.8 倍】、後期日程が 7.2 倍【前年度の海事科学部志願倍率 7.1 倍】となり、特に前期日程の倍率が前年よりも高くなりました。選抜の結果、200 名の定員に対して 204 名の学生が入学しました。

本学部は、海事海洋分野で世界をリードする「海のグローバルリーダー」あるいは「海のエキスパート」となり得る人材を育成することを目指しています。一学部一学科の中で、「海洋基礎科学」、「海洋応用科学」、「海洋ガバナンス」、そして我が国の海技士養成を支える海技ライセンスコース（「航海学」、「機関学」領域）の 5 つの専門領域を設け、それらの横断的な学びを通じて、「人と海の関わり」についての洞察力を身につけた人材を育て、海の科学的知見の集積、持続可能な開発、海の平和利用を目指した教育研究に取り組めます。

現在、新学部に一年生を迎えて前期の授業を終えたところですが、昨年度に続き、新型コロナ感染防止の観点から対面授業に踏み切ることは難しく、遠隔授業を中心に実施しました。一部、練習船を用いる講義で安全対策を施した上での対面実施を行いました。前期の授業では一年生から感染者は出ておらず、コロナ禍ではありますが、まずは順調な滑り出しであったと考えています。

2. 新練習船「海神丸」について

新練習船「海神丸」が、来年 4 月から運航予定です。「海神丸」は、「多機能練習船」として、以下の 3 つの機能を充実させます。

- ① 教育面における練習船機能： ゆとりのある実習・演習用スペースの確保、学生居室の少人数化、男女共同利用に配慮した船内住環境の改善。
- ② 多角的な海域探査や観測のための最先端研究機能
- ③ 災害支援対応のための機能： 被災地への水や電力の供給、支援物資の輸送などを行う災害支援機能の付加

また、本船は世界的な工業デザイナーである「奥山清行氏」にデザインの制作をしていただきました。

海神丸のスペックは以下のとおりです。

【主要目】

総トン数	889トン(※)
全長	59.60m
幅	11.00m
深さ	船楼甲板にて 6.70m、 上甲板にて 4.25m
航海速力	満載状態、主機関 80%負荷にて約 12.0 ノット
定員	士官 8 名、部員 3 名、教員 6 名、学生 48 名 (合計 65 名)
竣工	2022 年 3 月 (予定)

※総トン数については造船所の計画値

「海神丸」の進水式を本年 10 月 8 日に三菱重工マリタイムシステムズ株式会社(岡山県玉野市)にて執り行います。本船建造にご協力いただいた方々にご列席いただく予定です。

3. 「ありがとう深江丸」イベントについて

本年 9 月 24 日 (金) 15:00～ 深江キャンパス「講堂」において、「ありがとう深江丸」イベントを実施いたします。現在の深江丸は、神戸高等商船学校時代の昭和 2 年 1 月に進水した汽艇実習船「深江丸」から数えて四代目の船舶で、昭和 62 年 10 月に竣工し、今年で船齢 34 年となります。これまでの 34 年の航跡について、深江丸船長である矢野吉治教授による講演を予定しております。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一般の方の参加はお断りしておりますが、後日大学の HP にて当日の様子を動画配信する予定です。

【問い合わせ先】

神戸大学海事科学研究科 (総務企画グループ)

TEL : 078-341-6211

MAIL: gm-sc-soumu@office.kobe-u.ac.jp